

【ベトナム】

2月の市場動向トピックス

- 2018年2月の訪日ベトナム人数は、前年同月比6.4%増の23,400人となり、2月として過去最高を記録。
- 昨年は1月末にあった旧正月(テト)休暇が今年は2月中旬となったことに加え、当該休暇時期に合わせて運航された複数のチャーター便、旅行会社と実施した冬ならではの観光コンテンツをフックにした訪日旅行商品の販売が好調だったことも、訪日者数の増加を後押しした。

2月の主なプロモーション活動

- 旅行会社と連携した訪日旅行商品の販売促進や Facebook で動画をシェアすると「日本旅行」や「プレゼント」が当たる消費者向けキャンペーンなど、春の訪日需要喚起に向けた訪日旅行プロモーションを実施。訪日旅行のピークシーズンである春季の訪日者数増加が期待される。
- 2月25日～3月1日に、訪日旅行商品の取り扱いがある現地旅行会社9社(*)およびベトナム人ブロガー1名を北海道の道東に招請した。ベトナムにおいては、道東を巡るツアー商品が造成された前例があまりないため、今回の招請をきっかけに同エリアの魅力を発見してもらうことを目的とした。今後、ベトナムにおける道東エリアの旅行商品の造成が期待される。

(*)ホーチミン6社: BEN THANH TOURIST、HIS SONG HAN、PERFECT TOUR、INTERTOUR、TAGGER SAMURAI、TST TOURIST、ハノイ3社: TRANSVIET HANOI、SAIGON TOURIST HANOI、VIETRAN TOUR



春キャンペーンキービジュアル



(上) 招請時の様子(流水砕船視察)
(下) 招請時の様子(余市蒸留所視察)